

**令和3年度 海上技術コース(専修)
及び海技士コース(四級)(五級)入学式
式 辞**

海上技術コース(専修)入学生のみなさんへ

海技士コース(四級)(五級)入学生のみなさんへ

海技大学校の傍を流れる宮川の美しい桜並木も満開となり、春本番の季節となりました。

本日、このよき日に、令和3年度海技大学校入学式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びであり、教職員を代表し、一言お祝いの言葉を申し上げます。

海上技術コース(専修)第15期生及び海技士コース(四級)(五級)の皆様、入学おめでとうございます。

海上技術コース(専修)の皆様は、本日より、海上技術短期大学校で修得した四級海技士課程を基礎として、修業期間2年の三級海技士養成課程が始まります。2年間は、光陰矢の如し、すぐに過ぎ去ります。この2年間に有意義に過ごすために、目標を持つことが必要です。たとえば全ての科目で優を目指す、一級あるいは二級海技士の筆記試験に合格する、TOEICで高得点を獲得するなど、具体的な目標が良いでしょう。授業では、決して受け身にならず、自ら能動的に学ぶことが重要です。わからない所があれば、教員に質問してください。

海技士コース(四級)(五級)の皆様は、本日より皆様が現場で培った知識、技術を基礎として修業期間2.5ヶ月の四級海技士課程及び五級海技士課程が始まります。皆様は日々船員として業務に従事する中で、更に上級の海技免許を取得するために本校に入学してきました。皆さんのその向上心に対して、

心より敬意を表します。年齢やこれまでのキャリアは異なりますが、これからは本校の海技士コース(四級)(五級)の同級生として生活を送ることになります。学校を卒業して、しばらく教室から離れていた皆様にとって、毎日8時間に及ぶ授業・実習の連続は、初めのうちはつらいものもあるでしょうが、是非頑張っ
て、目標を達成していただきたいと思います。

習うは一生という諺があります。新しいことを知り、身に着けていくためには、人は、一生を通じ、常に学ばなければならないという意味です。将来、船員の資格要件が変更、あるいは追加されると、新しい知識、及び技量を取得するために新たな勉強が必要となります。一生を通じて学ぶ姿勢を第一としてください。

皆様が生活する海技大学校は、勉学環境に恵まれた国際文化住宅都市である芦屋市にあります。北側には六甲山を仰ぎ見て、南側には茅渚の海と呼ばれる大阪湾を眺望できます。六甲山の美しい風景を楽しみながら、本校での学校生活に励んでいただきたいと思います。

海技大学校は、現在、新型コロナウイルス感染予防のため、ガイドラインを作り様々な取り組みを行っています。三密の回避、マスクの着用、手洗い励行を基本として、まず自分が感染しない、他人に感染させない行動を心がけ、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、無事に卒業されることを願っております。

最後に、本校での修学期間、健康には十分に留意するとともに、全員揃って無事に卒業し、初期の目標である三級、四級、五級の海技士免許を取得されることを心から祈念いたしまして、簡単ですが、本日の式辞と致します。

令和3年4月7日

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 前田 潔